

様式第2号 (政務活動実施報告書)

平成29年11月 / 日

井原市議会議長

西田又志 様

井原市議会議員

上野 安是

下記のとおり政務活動を実施しましたので、報告します。

記

|  |                                   |
|--|-----------------------------------|
| 1. 実施期間                                    | 平成29年10月19日(木)、20日(金) <2日間>       |
| 2. 研修会等の開催地<br>または視察、要請・<br>陳情活動先          | 佐賀市(佐賀市文化会館 大ホール)<br>白石町(福富ゆうあい館) |
| 3. 研修会等の名称<br>または視察、要請・<br>陳情活動内容          | 全国過疎問題 シンポジウム2017 in さか           |
| 4. 研修会等の講師名<br>または視察、要請・<br>陳情活動先の担当者<br>名 | 山崎亮氏 (studio-L 代表)<br>他           |
| 5. 活動内容                                    | 別添のとおり                            |

1. 報告書は、政務活動終了後2週間以内に提出すること。

2. 活動内容欄のスペースが足りない場合は、任意の様式により活動内容を取りまとめ、活動内容欄へは、「別添のとおり」と記載すること。



第1日

◎ 基調講演

「宿元」が「まち」を創るために

講師 山崎亮氏 (studio-L 代表)

◎ パネルディスカッション

「人が輝く地域づくり - 自発と誇りが「地域」を変えよう」

飯盛義徳氏 (慶應義塾大学 教授)

千綿由美氏 (むらあき 代表)

山崎亮氏 (studio-L 代表)

渡邊法子氏 (ア・エ・ケ・金剛 代表)

横屋俊彦氏 (多久 市長)

十日町まちづくりステージ (新潟県)

・ 商店街を維持していかなくてはならないのか?

・ 中心市街地は、どんなかたちに?

から スタート

⇒ 「まちづくりコンセプトブック」を作成

必要なものは

・ どのように合意形成を図っていくのか?

・ 主体的に動いてくれる人たをどうつくるのか?

しほのち 2014 (広島県)

4つの支援内容

・ かわりやすくなる

・ つながりをつくる

・ かがみやすくなる

・ 居心地よくする

と、人々の「まち」がみやすくなる

町並み散策の休憩所がない

→ 自宅を休憩場所に

→ 友人たちの素晴らしい作品を見てほしい

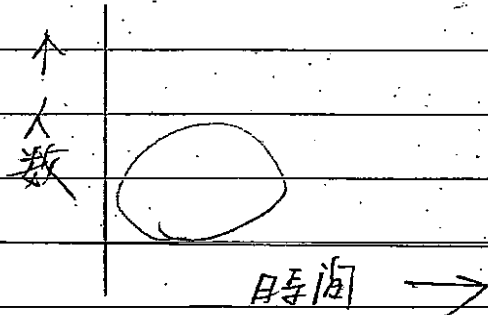
→ 作品を展示 = 「買えないけどもらえたら」

※ 人と人の関係をどう生かしているかが大事

(先進予防型の町づくり)

「知らず知らずのうちに歩いてしまう町」に

→ 100 アイデアを分類



人数も必要とせず時間もあまりかからないものをチョイス。

そのために、何をするか、できることを

- フリーパーク - パーク - 4
- いなかさんぽ - 4
- こども遊び広場
- 場づくり - 4

※ 人々の参加する時代がふたたび

※ 「ここにしかないもの」を

考えは

「で」じゃなく「か」で

(このままで「いい」  
このまま「か」いい)

⇒ 共有できるのは  
これ「で」いい

第2日

<テーマ>

「地域を支え子身近な移動手段

～住み慣れた地域で暮らし続けるために～

土井 勉氏 (大阪大学 特任教授)

田島 健一氏 (白石町長)

前田 弘次郎氏 (有)錦タニ 会長)

平野 征幸氏 (中原たすけあいの会 会長)

若菜 千穂氏 (いわて地域づくり支援センター  
常務理事)

白石町

・ミニカー (定時定路線)

2路線 ... 200円

・予約制ミニカー (区域「テーマ」)

4エリアに区分、ルート設計 ... 300円

中原たすけあいの会 (会員138名、登録者119名)

中原 19km<sup>2</sup> 65歳以上 2,606人

・福祉有償運送

・無償運送 (もやい号)

・運転ボランティア 実働6名 (45歳～79歳)

↳ 生きがい、下り場 昼食提供

いわせん

岩手県北上市口内地区

NPO 空白地有償運送

事務所 = 乗継拠点 下り場

移動だけ 確保しても

それが暮らしの安心につながらない

→ 拠点づくり (居場所づくり)

→ 拠点までの足づくり

※ 便利を追求しすぎると人のつながりの希薄になる

(所感)

地域の実情に合わせた 活性化の手法があり、  
それぞれの地域ごとに しっかり議論していく必要が  
ありと 感じた。

まちづくり団体の中心に、住みやすいまちを  
創造していきたい。

住み慣れた地域で暮らし続けるために、身近な  
移動手段を、どのように確保するか、これから先  
ますます 重要となってくる、しっかり検討を。

以上。